

# 第4章 計画の内容

基本目標

1

## 地域の支え合い・担い手づくり

▶▶関連する SDGs



### 取組の方向性 (1) 支え合いの意識を育む

地域で支え合うためには、一人ひとりが地域に住むさまざまな人について、お互いのことを知り、尊重する意識を持つことが重要です。地域や福生市社協の活動を知ってもらうためのきっかけづくりや、地域や福祉のことについて学ぶことができる機会をもつことで、身近な地域で支え合う意識を育みます。

#### 懇談会での意見

ごみ出しのルールを守れていない家庭があるね。声かけや手紙などでわかってもらう工夫が必要だね。

支え合うと言っても地域の情報がないわ。どんな人が住んでいるかわからないとむずかしいね。

子どもの登下校の見守りを地域の高齢の方にしてもらえると顔の見えるつながりになるんじゃないかな。

知る機会が欲しいよね。困った時の情報勉強会などがあるといいね。



#### 地域にできること

##### 住民や団体

- 地域の人を抱えるさまざまな課題や取組について知るために、講座や講演会などに参加する。
- 認知症、障害のある人や、外国の文化や習慣への理解を深めたり、「やさしい日本語」について学ぶ。
- 幅広い世代と一緒に活動を推進する。

##### 事業者や専門機関

- 幅広い世代に向け、自分たちの活動の情報を発信する。
- 認知症、障害のある人や、外国の文化や習慣への理解を深めたり、「やさしい日本語」について学ぶ。
- 地域の状況や特性を知り、新たな活動の機会について検討する。

めざすこと

福生市に愛着を持っている人を増やそう！



## 福生市社協が取り組むこと

### ① 広報・福祉啓発活動の充実

- 福生市社協の取組をもっと多くの人に知ってもらえるよう取り組みます。また、広報誌やホームページ、SNS などを使って、子どもから高齢の方まで、誰にでもわかりやすく伝わるように工夫して情報を発信します。言葉の使い方や見せ方も、見る人に合わせてやさしく、親しみやすくします。
- ふくふくまつりや福祉バザーなどのイベントをとおして、福祉にふれるきっかけを増やします。また、ボランティアや市民活動に関心を持ってもらえるよう、広報誌やホームページを充実させ、活動する人同士がつながれる仕組みも考えます。

### ② 地域における市民学習（福祉）の推進

- 地域の人たちが福祉について自然にふれられるように、学校や企業、ボランティアの方々と協力して、体験活動や学びの場を広げます。みんなで力を合わせて、やさしさや支え合いの大切さを感じられる機会をつくります。
- 国籍や文化の違いがあっても、安心して暮らせる地域をめざして、日本語学校などと協力しながら、情報交換やイベントを行います。いろんな人がつながり、助け合えるあたたかい地域づくりを応援します。

### 成果目標

No	指標	現状 (令和 6 年度)	目標 (令和 12 年度)
1	多文化共生に関する啓発イベントの開催回数	—	年3回以上開催
2	学校・企業・ボランティアの協力による福祉体験活動の実施回数	12 回	20 回

## コラム

### ポストに届く「社協広報」、開いてみてください

ポストに届く「社協広報」、ご覧になっていますか？

中には、子育てイベントや地域の助け合い活動など、あなたやご近所の方の暮らしに役立つ情報が載っています。私たちは、すべてのご家庭に届く広報誌と、スマホで気軽に見られるホームページや SNS で、地域とあなたをつなぐ「きっかけ」をお届けしています。

まずは、広報誌を少し開いてみる、SNS をそっとフォローしてみる。その小さな一歩が、もっと住みやすい福生市をつくる力になります。

### あなたの「アクション!」、ここから始めませんか？

あなたの「何かしたい」を応援します。

「地域のために何かしてみたい」「新しいことを始めたい」。でも、何から始めればいいのかわからない…そのように感じていませんか？その「最初の一步」を応援するのが、ふっさボランティア・市民活動センターです。私たちは、情報紙『アクション!』や YouTube チャンネルで、福生市で活動するさまざまな団体や人々の様子を紹介しています。きっと、あなたの「やってみたい」が見つかるはずです。さあ、一緒に「アクション!」を起こしましょう。



## 取組の方向性 (2) 顔見知りの関係になる居場所づくり

地域に住むさまざまな人が孤立しないよう、それぞれがゆるやかなつながりを持ち、顔見知りの関係になることが重要です。町会・自治会や小地域福祉活動など、身近な住民同士の見守り・交流活動に取り組むことで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを行います。



### 懇談会での意見

若い人と交流したいな。  
学校やPTA、青少年育成活動と  
連携できるといいよね。

町会や自治会の良さ、  
メリットを伝えていきたいな。

Youtube など、若い世代と協力  
しながら情報発信ができれば  
いいよね。



町会長の会合で  
町会会員との意見交換を  
してもらえるといいな。



### 地域にできること

#### 住民や団体

- 町会・自治会活動などを幅広い世代にPRする。
- 小地域福祉活動などに参加して、地域の状況を知る。
- サロンなど、地域のさまざまな居場所を知り、共有する。
- 気軽に参加しやすい場をつくる。
- 悩みや困りごとを抱えている人や孤立しがちな人を理解し、受け入れる。

#### 事業者や専門機関

- 幅広い世代に関わるテーマで交流の場をつくる。
- 地域の支え合い、助け合いの仕組みを、人材や技術、資金面などで支援する。
- 悩みや困りごとを抱えている人がいたときは、できる範囲で受け入れる。
- 自分たちの活動とさまざまな地域の活動で連携できることを検討する。



めざすこと

近所の人とあいさつできる関係になろう！



## 福生市社協が取り組むこと

### ①小地域福祉活動リーダー及びボランティアの育成

- 地域の福祉活動がもっと楽しく、続けやすくなるように、運営の工夫や困りごとについて学べる交流会や研修、ボランティアのはじめ方を知る講座などを行います。

### ②小地域福祉活動の基盤強化への支援

- 地域の福祉活動が安心して続けられるように、事業の計画づくりや予算の申請をサポートし、活動が広がるようにお手伝いをします。

### 成果目標

No	指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
1	小地域福祉活動の参加人数	3,035人	3,200人
2	ふれあい・いきいきサロンの開催数を維持	261回	現状維持

## コラム

### 地域をつむぐ やさしい手しごと



「小地域福祉地区」と聞くと少し難しく感じるかもしれませんが、簡単に言えば、町内会や自治会を母体にした地域の福祉活動のことです。ご近所同士が集まり、高齢者の見守りや子育て支援、交流イベントなど、地域の課題に合わせた取組を行っています。

先日訪れた地区では、手芸やおしゃべりを楽しむ「サロン」が開かれ、ボランティアの皆様が温かく迎えていました。「最初は不安だったけれど、笑顔を見ると来てよかったと思える」「ただ『元気?』と声をかけるだけでもつながりを感じられる」と語る声が印象的でした。こうした日々の積み重ねが、地域福祉の力となっています。

**「一人じゃない」と感じられる場が、ここにはあります！**

## 取組の方向性 (3) 誰もが輝ける場づくり

誰もがその人らしく地域の中で活躍できるよう、活動の場やきっかけづくりが重要です。多様なライフスタイルや価値観に応じて、その人に合った関わり方ができるよう、ボランティア・市民活動などを活発にします。また、既に活動している人や団体同士が交流や情報交換を行うことで、より良い活動につながるようになります。

### 懇談会での意見

買い物の手助けを  
近所の人同士で  
できるといいよね。

地域活動をするスタッフが  
いなくて困っているんだよね。

ボランティアをする人が  
減っているので、  
自分が活動する姿を見て、  
やってみたいと思う人が  
増えたらいいな。



### 地域にできること

#### 住民や団体

- 幅広い世代が参加しやすい雰囲気づくりや、体験機会など、受け入れのための工夫をする。
- 一緒に活動をする人を増やすために、情報発信や活動周知のためのイベント参加に取り組む。
- さまざまな団体との関わりを持ち、情報交換や研修などをおして新たにやってみたいことやできることを検討する。

#### 事業者や専門機関

- 無償のボランティア活動だけではなく、有償の活動も検討する。
- さまざまな団体との関わりをもち、情報交換や研修などをおして新たにやってみたいことやできることを検討する。



めざすこと

地域活動やボランティア活動に  
取り組んでみよう！



## 福生市社協が取り組むこと

### ① ボランティア育成支援プログラムの充実

- 地域の様子や皆様の関心に合わせて、ボランティアや福祉について楽しく学べる講座や体験の場をつくります。はじめての方でも参加しやすいように、協力してくれる施設・団体と一緒に、安心して取り組める環境を整えます。

### ② ボランティアグループ・当事者団体との連携・活動支援

- 子育て、障害など、同じ立場の人が安心して集まり、話したり支え合える場づくりを応援します。ボランティアや団体の活動も、講座や情報交換を通じてサポートします。
- 老人クラブの自立した活動や、認知症カフェなどの取組を支えながら、地域でいきいきと過ごせる環境づくりを進めます。

### ③ ボランティア・市民活動センターの基盤強化

- 地域の声を聴きながらボランティアや市民活動の相談に応じ、困りごとを早めに見つけて関係団体と協力して支えます。活動の魅力を伝え、誰もが気軽に参加できる交流の場をつくります。

## 成果目標

No	指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
1	夏の体験ボランティアの参加人数	131人	200人
2	パートナーシップ事業として連携する団体数	12団体	年間 20団体以上

## コラム

### 「やってみよう！」が未来を変えるー夏体験ボランティアのススメ

ボランティア・市民活動センターでは地域の支え合い・担い手づくりとして夏体験ボランティアを実施しています。ボランティア体験をすることで地域とのつながり・貢献を体験できるボランティア育成支援プログラムです。



#### どんな事業なの？

夏休みの期間を利用して、福祉施設や保育園、環境保全の現場で「人のために動く」経験ができます。1日だけの参加も、連続しての参加も自由。自分のペースで関われるのが魅力です。

#### なんのためにやってるの？

この事業の目的はズバリ「気づき」と「つながり」を生むこと。

「自分の知らない世界にふれることで、視野が広がる」、「誰かの役に立つことで、自分の存在価値を感じられる」、「地域の人と関わることで、社会とのつながりを実感できる」などの効果を期待しています。つまり、「ちょっとした勇気」が「大きな成長」につながるんです。

ボランティア育成支援プログラムをとおして、地域全体が少しずつ、でも確実に元気になっていくーそんな未来を描いています。

基本目標

2

# 安心して住み続けられる地域づくり

▶▶関連する SDGs



## 取組の方向性 (1) 安心してサービスを受けられる体制づくり

困りごとがあっても必要な支援・サービスを受けながら、安心して地域で暮らせることが重要です。高齢者や認知症、障害者、子育て家庭への理解を深め、ちょっとした困りごとを支え合う活動に取り組むほか、相談などを通じて、適切な福祉サービスにつなげます。

### 懇談会での意見

買い物に行けない人に、何かできるといいね。

歩行中の障害者を大切にしてほしいな。

移動手段がなくて困るよね。何かいい方法はないかしら。

高齢者の見守りをしたいな。ポストの中がいっぱいになっていないか見ているよ。

### 地域にできること

#### 住民や団体

- 成年後見制度や遺言など、自分や家族の権利を守る方法について知る。
- 認知症や障害などへの理解を深める。
- 契約や手続きなどに不安がある人がいたら、地域包括支援センターや成年後見センターに伝える。

#### 事業者や専門機関

- 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)などについて理解する。
- 契約や手続きなどに不安がある人がいたら、地域包括支援センターや成年後見センターと連携して支援する。
- 高齢者でも、認知症や障害があっても地域で活躍できる環境や場をつくる。



**めざすこと** 必要な福祉サービスの情報をしっかり入手しよう！



## 福生市社協が取り組むこと

### ①福祉サービス利用援助と成年後見制度の利用促進

- 認知症や障害などで判断がむずかしい方が安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用を助ける仕組みや支援員の体制を整えます。
- 判断がむずかしい方の代わりに手続きを行う「成年後見制度」について、制度の紹介や利用のサポートを行い、必要な方に届くよう広報活動を進めます。

### ②子育てしやすい地域づくり

- 働く保護者の子どもが安心して過ごせる場づくりや、子育て中の親子が気軽に集まれる場所を整え、地域みんなで子どもの成長を見守ります。「おもちゃの図書館」も、誰もが楽しく使える場所になるよう応援します。
- 子育てなどで困っている家庭を地域で支えられるよう、協力してくれる方への講習や交流の場をつくり、安心して活動できる仕組みを広げます。

## 成果目標

No	指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
1	小地域福祉活動にて成年後見センターの周知と権利擁護に関する啓発を行う地区数	4地区	全地区
2	おもちゃの図書館の利用人数	203人	240人

## コラム

### 「成年後見制度」ってなあに？

成年後見制度とは、判断能力が不十分になった方を法的に守り、支える仕組みです。

例えば…

- 悪質な訪問販売の契約から財産を守ります。
- 介護や医療サービスの手続きを代行します。



**福生市では、福生市社会福祉協議会が委託を受け、  
成年後見センター福生として皆様をサポートします！**

成年後見センター福生では「地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」や「ふくし総合相談」の窓口も担っています。まずはお気軽にご相談ください！

## 取組の方向性 (2) いざというときに備える体制づくり

各地で異常気象や地震などによる自然災害が多く発生しており、いざというときに備え、地域で支え合える関係づくりが重要です。平時からの訓練や備蓄に一人ひとりが取り組むとともに、高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、外国人など、災害の時に特に配慮が必要な人を地域で支えるため、さまざまな機関が連携して取り組みます。



### 懇談会での意見

空き巣が増えているよね。  
地域で不審者情報を  
共有するといいいんじゃないかな。

詐欺被害などに遭わないように  
住人同士で協力したいね。

水害のリスクにも備える  
必要があるよね。



### 地域にできること

#### 住民や団体

- 地域で開催される防災訓練、防災イベントや講座などに参加する。
- 災害ボランティアセンターや災害ボランティアなどについて知る。
- 災害時要援護者や避難行動要支援者について、発災時の安否確認方法や支援体制について確認する。
- 普段どおりの活動ができない時期があってもできる範囲でつながりをもちつづける。

#### 事業者や専門機関

- 地域で開催される防災訓練に参加する。
- 災害時要援護者や避難行動要支援者について、発災時の安否確認方法や支援体制について確認する。
- 防災をテーマにした講座やイベントなどを開催し、ともに考える場をつくる。
- いざというときに地域での支え合い活動に生かせるものはないか、検討する。



#### めざすこと

災害時に助け合える関係をつくろう！



## 福生市社協が取り組むこと

### ①災害時における要配慮者への支援

- 避難がむずかしい方を地域みんなで支えられるよう、住民や専門職と協力して、災害時の支援方法を広めます。
- 関係機関との連携を通じて、避難時の安否確認や対応がスムーズにできるよう、体制を整えます。

### ②災害ボランティアに関する啓発と育成

- 災害時に活躍するボランティアや支援の調整役となる人を育成して、事前に備えるとともに、地域の人たちにその活動を知ってもらえるよう広めます。

### ③災害ボランティア体制整備の支援

- 災害が起きたときにすぐ動けるよう、市民や関係機関と協力してボランティアセンターの立ち上げ訓練を行い、福生市とのつながりを深めます。

### ④災害時の福生市社協体制の強化

- 地震や感染症などの非常時でも福祉の支援が止まらないよう、職員で計画を話し合い、マニュアルの見直しや優先すべき活動を整理します。
- 避難や安否確認の練習など、地域の人と協力して行き、助け合える体制を整えます。

## 成果目標

No	指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
1	防災意識が高まる啓発活動の回数(イベント、広報など)	2回	6回
2	災害ボランティアの登録人数	10人	50人

## コラム

### みんなでつくる、安心のまち

最近、福生市内で防災講座や防災まち歩きに参加する機会が増えています。災害時にどう動くか、どこへ避難するか、そんな疑問に答えるため、福生市社協では地域住民とともに備えの活動を進めています。

講座では「近所の一人暮らしの方や子育て中の方に声をかけたい」との声があり、まち歩きでは「普段の道でも危険箇所が見えてきた」との気づきがありました。

備えは日常の中にあります。ハザードマップの確認、非常持ち出し袋の準備、そして地域のつながりを大切にすること。それが、安心して暮らせるまちづくりにつながります。

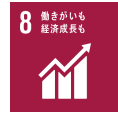


資料:福生市

基本目標  
3

## 適切な支援につなげる体制づくり

▶▶関連する SDGs



### 取組の方向性 (1) 世代や分野を超えてつながる体制づくり

悩みや困りごとを抱えている人が安心して相談でき、適切な支援につながることが重要です。身近な人の困っている様子に気づいたときは、適切な相談先や支援機関などにつなげるよう、一人ひとりが意識して取り組むとともに、地域の課題を受け止め、解決につなげるよう、福生市社協が中心となって地域の支援者、行政、専門機関など、それぞれの強みを生かしたネットワークづくりに取り組みます。

#### 懇談会での意見

町会をやめた方に、今後もできるだけ声を掛けられるよう活動していきたいな。

高齢者の方が家から出てこなくて心配なんだよね。  
地域包括支援センターに伝えて協力してもらおうことが大事だね。

生活に困っている家庭があるみたいだよ。



#### 地域にできること

##### 住民や団体

- 悩みや困りごとを抱え、生きづらさを感じている人が地域にいることを理解する。
- 福生市社協や地域の支援者、行政、専門機関など、さまざまな相談窓口や制度について普段から知り、共有する。
- 心配な様子の人に気づいたら、声かけをしたり、福生市社協や地域の支援者、行政、専門機関などに相談する。
- 他のサロンや町会・自治会、ボランティア団体、企業などの活動を知る機会に参加し、活動の幅を広げる。

##### 事業者や専門機関

- 悩みや困りごとを抱え、生きづらさを感じている人が地域にいることを理解する。
- 活動をとおして心配な様子の方の存在に気づいたら、声かけをしたり、福生市社協や地域の支援者、行政、専門機関などに相談する。
- 他のボランティア団体、町会・自治会や企業などの活動を知る機会に参加し、活動の幅を広げる。

めざすこと

困ったときは相談できるようにしよう！





## 福生市社協が取り組むこと

### ①相談支援活動の充実と相談支援体制の構築

- 地域の中で身近な困りごとを見つけ、必要な支援につながるようお手伝いします。一人ひとりに合った情報をわかりやすく届け、相談しやすい環境を整えます。
- 関係機関と連携しながら、相談内容に合った支援先へつなぎます。必要に応じて一緒に訪問するなど、安心して相談できるようサポートします。
- 相談支援者やボランティアの力を高めるため、研修や学びの場を広げます。地域での健康相談や出張相談も進め、身近な場所で気軽に話せる仕組みをつくりまます。

### ②地域福祉関係団体・機関との連携強化

- 町会長協議会、民生委員・児童委員、老人クラブ、福祉施設、ボランティア・市民活動団体などと連携し、地域における福祉の課題を共有し、解決に向けた協働を進めます。また、市内の社会福祉法人が連携して地域公益活動を推進するため、「社会福祉法人地域ネットワーク」を設立し、協働による取組を通じて市民の福祉向上を図ります。
- 同じ立場の人が悩みを聞き合うなど、地域の人たちが安心して話せる相談の場づくりを、地域と一緒に進めます。

### ③小地域福祉活動への支援

- 困っている人に声をかけたり、地域の特色を生かした「ふれあい・いきいきサロン」を続けられるよう応援しながら、住民同士が集まって悩みや地域の課題を話し合える場づくりを支えます。

### ④企業との連携

- 企業の人材やアイデアなどを地域の福祉活動に生かせるよう、イベントや交流を通じてつながりを広げます。「地域のために何かしたい」という気持ちが、自然にかたちになるような仕組みづくりを進めます。

## 成果目標

No	指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
1	小地域福祉活動での出張相談	3回	20回
2	市民活動講座の参加者数	111人	150人

## コラム

### 「地域福祉コーディネーター」ってどんな人？ ～あなたの暮らしをそっと支える新しいサポーター～



福生市では「重層的支援体制整備事業」の中で、皆様の暮らしを支える「地域福祉コーディネーター」が活動しています。

#### ・困りごとを抱えるあなたへ

「どこに相談したらいいかわからない」「困りごとがいくつも重なっている」といった複雑な状況の時、市役所や地域の支援機関と協力し、「あなたのためのチーム」をつくって支援を調整します。

#### ・地域とつながりたいあなたへ

「地域で何かしたい」「人とつながりたい」と思っている方には、ボランティア活動や誰もが安心して集える「居場所」探しをお手伝いします。さらに、世代や立場をこえて交流できる居場所づくりや、地域の活動をつなぐネットワークづくりにも取り組み、地域全体で支え合える環境を整えます。

## 取組の方向性 (2) 地域福祉推進の基盤づくり

福生市の地域福祉の推進役として、福生市社協の強みを生かし、その活動を継続していくことができるよう、情報収集や活動資金など、基盤づくりに向けて取り組みます。



### 懇談会での意見

協力したいけど、  
個人情報適切に扱われるよう  
にしてほしいな。

会費や寄附が具体的に  
何に使われているか  
わかりにくいよね。

市の活動と社協の活動も  
わかりにくいね。  
社協の活動をもっと  
アピールしてほしいよね。



### 地域にできること

#### 住民や団体

- 地域の活動を「会費や寄附」で支える  
「社協会員会費」や「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」への協力は、地域のボランティア活動や福祉サービスを支えるための最も身近な応援です。  
一つひとつの善意が、このまちの福祉活動を動かす大きな力になります。

#### 事業者や専門機関

- 強みを生かして「地域貢献」に参加する  
企業の持つ技術やノウハウ、専門職の知識、あるいは活動資金の提供など、それぞれの組織の強みを生かして地域活動を支援することは、価値ある社会貢献(CSR活動)です。  
人材、技術、資金といった面で地域を支えるパートナーシップが期待されます。



めざすこと

社会福祉協議会のことを知ってもらおう！



## 福生市社協が取り組むこと

### ①地域福祉を支える安定した基盤づくり

- 日々の相談活動や地域の皆様との交流の中から、制度の狭間で困っている方の声や、まだ表面化していない課題(福祉ニーズ)を丁寧に見つけ出します。集まった情報は、市役所など関係機関とともに分析し、より良いサービスや仕組みづくりに向けた改善提案を行います。
- 地域の福祉活動を安定して続けるためには、財源の確保が不可欠です。「社協会員会費」や「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」では、町会・自治会や民生委員・児童委員の皆様と協力し、地域の支え合いの心をかたちにする輪を広げます。
- 広報誌やホームページへのバナー広告掲載、オンライン寄附の仕組みの充実など、誰もが気軽に参加・協力できる多様な社会貢献の機会をつくれます。

### 成果目標

No	指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
1	福祉ニーズの把握と連携強化のためのアウトリーチを軸とした訪問等の件数	78件	150件
2	サービス活動増減差額比率(法人全体)	11.6%	12.0%

## コラム

### あなたの会費が、このまちの「支え合い」を育てています

「社協の会員会費って、いったい何に使われているの?」そう思われたことはありませんか?

皆様からお預かりする会費は、例えばこのような活動に使われています。

- 親子が笑顔で集い、ほっと一息つける「子育てサロン」の運営に。
- ご近所での見守りや声かけといった「小地域での福祉活動」を支えるために。
- 急な怪我や退院時、介護保険の認定前などに、一時的に必要な「車いすの貸し出し」に。
- 子どもたちの創造力を育み、交流の場となる「おもちゃの図書館」の運営に。

このように、社協の会員になることで、「日々の活動にはなかなか参加できないけれど、地域を応援したい」という温かいお気持ちを形にすることができます。

皆様お一人おひとりのご支援が、具体的な「支え合いの仕組み」となり、誰もが安心して暮らせるまちをつくるためのかけがえのない力になります。

このまちの温かい輪に、あなたも会員として参加してみませんか。

※会員会費は、税制上の優遇措置(寄附金控除)の対象となります。

詳しくはお気軽にお問い合わせください。

